

殺虫剤

ダイアジノンマイクロカプセル剤

ダイアジノン[®]SLゾル

農林水産省登録 第 17620 号

(日本化薬(株)登録)

性状：類白色水和性粘稠懸濁液体

毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指すという通称)

有効年限：3 年

包装：1ℓ×15本(芝用)、2ℓ×6本(農用)

有効成分：ダイアジノン(PRTR・1 種)・・・25.0%

殺虫剤分類 **1B**

ダイアジノン[®]は日本化薬(株)の登録商標です。

特 長

- ダイアジノンをマイクロカプセル化して残効性と安全性を高めました。
- 1回の使用でコガネムシ類幼虫を長期間防除する持続効果があります。
- 散布時、散布後ともにおいの少ない製剤です。
- マイクロカプセル独特の食毒効果があります。

適用病害虫名および使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダイアジノンを含む農薬の総使用回数
かんしょ	ナカジロシタバ	1000倍	100～300ℓ／10a	収穫30日前まで	2回以内	散布	3回以内(マイクロカプセル剤の植付前の処理は1回以内、マイクロカプセル剤の散布は2回以内、粒剤の散布は2回以内)
	コガネムシ類幼虫	50倍	100ℓ／10a	植付前	1回	全面土壌混和又は畝立て前作業散布	1回
		25倍					
		25～50倍					
		50倍					
		50倍	は種前	全面土壌混和		2回以内	
		25倍	定植前(本圃)				
		50倍	植付時(仮植床)				
		500倍	1000mℓ／10a	ポット育苗時			
	なし(苗木)	25倍	400mℓ／㎡		土壌表面に散布後、軽く混和	1回	
つつじ類	25～50倍	100ℓ／10a	植付時	全面土壌混和	2回以内		
ひのき(苗畑)、すぎ(苗畑)	100倍	200～400ℓ／10a	植付前				
さくら	アメリカシロヒトリ	1000倍	200～700ℓ／10a	発生初期	4回以内	散布	4回以内
芝	シバツトガ、スジキリヨトウ、シバオサゾウムシ成虫		0.3ℓ／㎡				
	ケラ		1ℓ／㎡			土壌注入	
	シバオサゾウムシ幼虫		0.7～1ℓ／㎡				
	コガネムシ類幼虫	1ℓ／㎡	コアリング時(目土前)	散布			
25倍		0.1ℓ／㎡	張り芝前	土壌混和			
樹木類		16g／培土㎡	400～2000mℓ／培土㎡	鉢上げ時又は鉢代え時	1回	培土混和	

使用上の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使い切ってください。
- 貯蔵中に沈澱を生ずることがあるので、使用直前に容器をよく振って使用してください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせ所定量の範囲内で調節してください。
- 本剤の散布薬液は希釈調製後できるだけ速やかに使用してください。希釈調製後に静置しておいた場合は、散布前に十分攪拌してください。
- なしのポット育苗時に使用する場合、処理面積に応じた使用量を散布し、軽く混和してください。
- いちごのポット育苗時にポット灌注で使用する場合、使用量を1㎡あたりに定植する株数で除した液量を各ポットに灌注してください。
- コガネムシ類幼虫、シバオサゾウムシ幼虫に対して土壌注入処理をする場合には、農薬を高圧噴射できるインジェクターを使用してください。
- コガネムシ類幼虫に対して散布処理をする場合には、コアリング時の目土前に処理してください。
- 樹木類の培土に処理する場合には、培土中に薬液が十分行き渡るように所定量の範囲内で使用量を調整し、培土とよく混和してください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
 - 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意事項

- 誤飲などのないように注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 本剤の解毒剤としては硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤があります。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
- 使用の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 公園等で使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

水産動植物に係る注意事項

- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないように注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管に関する注意事項

- 直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。
- 低温時は保管場所に十分注意し、凍結をさけてください。